

授業科目名	高齢者看護学概論		担当教員	◎青山美紀子、新田静江、川上裕子
必修	開講年次：2年後期	単位：2単位	授業形態：講義 30 時間	

### 【授業概要】

高齢者の健康増進や QOL (Quality Of Life) の向上についての学問的追求と知識の向上を図ることは、長寿社会を迎えた日本、特に高齢化率の高い南房総地区においては重要な課題である。このコースは、高齢者を身体・生理的側面、ライフステージ、社会的側面から理解し、適切な看護を実践するための理論と技術を学ぶ。

### 【授業目的・目標】

1. 長寿化を社会現象として捉え、それに伴う社会の対応と課題について考察する。
2. 高齢者を身体的生理的側面、心理・精神、スピリチュアル的側面、社会環境的側面から考察し、高齢者の特徴とその生活について理解する。
3. 保健医療福祉制度の変革が看護にもたらす影響と看護師が果たす役割の変化について論議する。
4. 高齢者のための看護に有効な理論について考察する。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

- |                                  |            |
|----------------------------------|------------|
| [01] 「古い」と老年期の理解、老年看護の理念と目標      | (青山・川上)    |
| [02] 高齢者をとりまく社会制度、高齢者の権利擁護と倫理的課題 | (新田)       |
| [03] 加齢による身体機能の変化①               | (川上)       |
| [04] 加齢による身体機能の変化②               | (川上)       |
| [05] 加齢による身体機能の変化③               | (川上)       |
| [06] 加齢による心理・社会的側面の変化①           | (青山)       |
| [07] 加齢による心理・社会的側面の変化②           | (青山)       |
| [08] 演習：高齢者の体力測定体験、課題 1 説明       | (川上)       |
| [09] 演習：高齢者の体力測定補助と交流            | (青山・川上・新田) |
| [10] 演習：高齢者の体力測定補助と交流            | (青山・川上・新田) |
| [11] 課題 1：高齢者擬似体験                | (青山・川上)    |
| [12] 老年看護に活用できる理論・アプローチ          | (川上)       |
| [13] 高齢者の健康生活の支援                 | (青山)       |
| [14] 高齢者の家族への支援                  | (新田)       |
| [15] 討議「高齢者を知ろう：面接体験」            | (青山・川上)    |

### 【教科書】

正木治恵、真田弘美編集 (2016) 老年看護学概論「老いを生きる」を支えることとは (改訂第 2 版)、南江堂

### 【参考書】

特になし

### 【評価方法・評価基準】

- ・試験成績 80% (小テスト合計又は定期試験のいずれか高い方の得点)
- ・課題学習 20% (高齢者擬似体験、面接体験)

合格は、小テスト又は中間試験得点が 60% の得点 (48 点/80 点) 以上で、総合点が 60 点以上とする。

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事後学習：学習内容の復習のために、講義毎に小テストを実施する。

### 【教育目標 (必須要素) との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

小テストの問題は回収せずに正解を 1 週間掲示し、レポートは評価点を記載して学期内に返却する。

### 【備考】